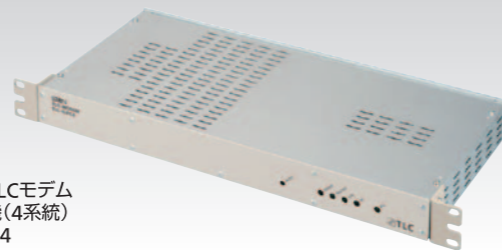


PoE対応TLCモデム センター機(2系統/4系統)

PoE対応TLCモデム
センター機(2系統)
TLC-10PC2



PoE対応TLCモデム
センター機(4系統)
TLC-10PC4



型名	TLC-10PC2	TLC-10PC4
通信方式	HD-PLC(注1)	
使用周波数(MHz)	2~28	
変調方式	Wavelet変換OFDM方式(注2)	
伝送実効速度(Mbps)	65(TCP)・90(UDP)(注3) 35(TCP)・45(UDP)(注4)(注5)	65(TCP)・90(UDP)(注3) 15(TCP)・22(UDP)(注5)(注6)
接続端子	BNC×2	BNC×4
最大伝送距離	10BASE-T/100BASE-TX(MDI/MDI-X自動切替)×1 PoE給電機能ON時:500m(注7)(注8) PoE給電機能OFF時:1000m(注7)(注8)	
V S W R	3.0以下	
電源電圧	AC100V 50/60Hz	
同軸給電電圧	DC56V(BNC端子より送電)	
消費電力	最大55W(PoE給電あり)(注4)(注8)(注9) 最大12W(PoE給電なし)(注4)(注8)	最大107W(PoE給電あり)(注6)(注8)(注9) 最大20W(PoE給電なし)(注6)(注8)
使用温度範囲(°C)	0~+40	
寸法(mm)H×W×D	40×125×207	44×480×197
質量(kg)	0.86	2.0
備考	19インチラックマウント取付可能	

PoE対応TLCモデム ターミナル機

PoE対応TLCモデム
ターミナル機
TLC-10PT



背面

型名	TLC-10PT
通信方式	HD-PLC(注1)
使用周波数(MHz)	2~28
変調方式	Wavelet変換OFDM方式(注2)
伝送実効速度(Mbps)	65(TCP)・90(UDP)(注3)
接続端子	BNC×1 10BASE-T/100BASE-TX(MDI/MDI-X自動切替)(PoE)×1
最大伝送距離	PoE給電機能ON時:500m(注7)(注8) PoE給電機能OFF時:1000m(注7)(注8)
V S W R	3.0以下
電源電圧	BNC端子より受電
P o E 給 電 電 力	最大15.4W(IEEE802.3af準拠)(注10)
消費電力	センター機の消費電力に含む
使用温度範囲(°C)	-10~+50(注11)
寸法(mm)H×W×D	31×100×100
質量(kg)	0.15
備考	PoE切替スイッチ付

注1: パナソニック株式会社が提唱する高速電力線通信方式の名称です。 注2: 周波数利用効率が非常に高い直交周波数分割多重を採用し、各サブキャリアの直交化にWavelet変換を適用して、高効率な高速データ通信を実現した技術です。
注3: ターミナル機1台接続時。 注4: ターミナル機2台接続時。 注5: 同時通信時の速度。 注6: ターミナル機4台接続時。 注7: 5C-2V使用時。 注8: PoE給電機能のON/OFFは、TLC-10PTのPoE切替スイッチにて切替可能。
注9: ネットワーク機器とターミナル機の消費電力を含む。 注10: 給電方式: Alternative B(空き線4-5, 7-8) 注11: 始動時は0~+50°C

ご注意

- 本商品の電源を入れる際は機器との接続が終わってから行ってください。電源を入れた状態で機器との接続を行うと、感電やショート、火災の原因となりますのでご注意ください。
- 本商品を同軸ケーブルに接続する前にCCTVカメラなど、他の機器が接続されていないことを十分確認してください。
- 同軸ケーブルの芯線に触れないでください。感電の原因になります。
- 本商品は屋内専用です。屋外(軒下含む)や浴室、流し近く等の直接水のかかる湿気の高い場所には危険ですので設置しないでください。
- 本商品のテレビ受信設備への接続は、他の機器の故障の原因となりますので行わないでください。
- 電子レンジ等強い電磁波がでている電化製品の近くでは本商品に影響を与える可能性がありますので、使用しないでください。
- ケーブルを引っ張ったり、コネクタ部に無理な力を加えないでください。ケーブルの破損や感電の原因となります。
- 本商品にBNCコネクタを接続する際は、過度に締め付けしないでください。本商品の破損の原因となります。
- AC100V電源を接続してもバイポーラランプが点灯しない場合にはお買い上げの販売店、または営業所にお問い合わせください。
- 電源の再投入は時間を置いてから行ってください。
- 本商品のIPアドレスは「192.168.0.249」です。このIPアドレスと同じネットワーク機器を本商品にLANケーブルで接続しますと、通信できない状態になります。その場合(IPアドレスが競合してしまった場合にはネットワーク機器のIPアドレスを変更するようお願い致します。

RoHS指令対応品マーク (環境に配慮した商品です。) RoHS指令とは... 「EU(欧州連合)での電気電子機器における特定有害物質の使用制限に関する指令」の事です。使用制限対象物質は、鉛、水銀、カドミウム、六価クロム、ポリ臭化ビフェニール(PBB)、ポリ臭化ジフェニール(PBDE)の6物質で、EUにおいて2006年7月から施行され、EUで販売される電気電子機器に対しては、対象6物質の使用が制限されています。

情報通信システムのベストパートナー
サン電子株式会社

本社 〒160-0023 東京都新宿区西新宿4-3-12
TEL.03-3374-0081(代) FAX.03-3376-8801
http://www.sun-ele.co.jp E-mail: info@sun-ele.co.jp

商品の意匠・仕様につきましては、改善の為予告無く変更する事がありますので、ご了承下さい。

お問い合わせは当店へ

- | | | | | | |
|--------|-------|-------|-------------------|-------------------|-------------|
| 東京営業所 | 埼玉営業所 | 広島営業所 | 神戸FS(フロンティアサテライト) | 札幌FS(フロンティアサテライト) | ハウジングルート事業部 |
| 大阪営業所 | 横浜営業所 | 仙台営業所 | 静岡FS(フロンティアサテライト) | 電材ルート事業部 | 情報通信事業部 |
| 名古屋営業所 | 千葉営業所 | 山北営業所 | 小山FS(フロンティアサテライト) | ホーム機器事業部 | システム事業部 |
| 福岡営業所 | 多摩営業所 | 山南営業所 | 盛岡FS(フロンティアサテライト) | 特機事業部 | |



情報通信設備導入の 設備無料診断キャンペーン実施中!

集合住宅、ホテル、病院等、現場での事前調査を行い、情報通信設備導入の無料診断を行います。お申込みは「サン電子」のHPから。



PoE TLC Series

センタータイプ
& ターミナルタイプ

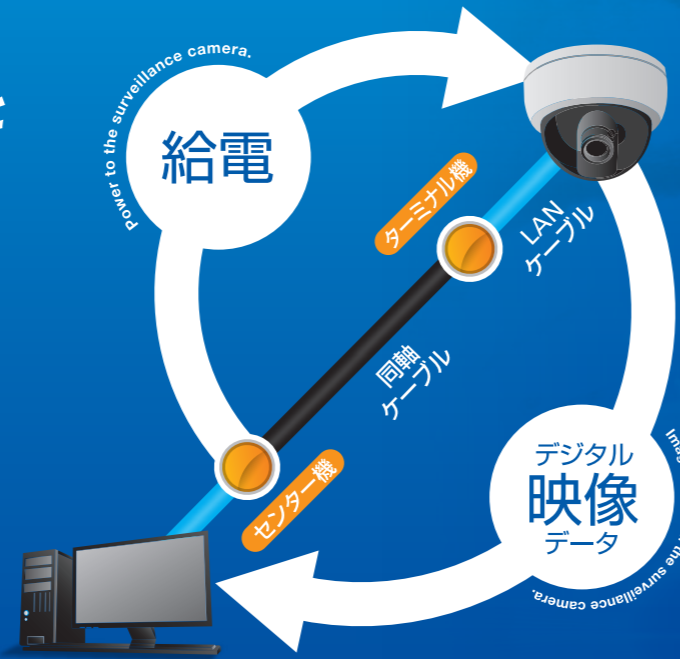
ネットワークカメラ

導入への近道。

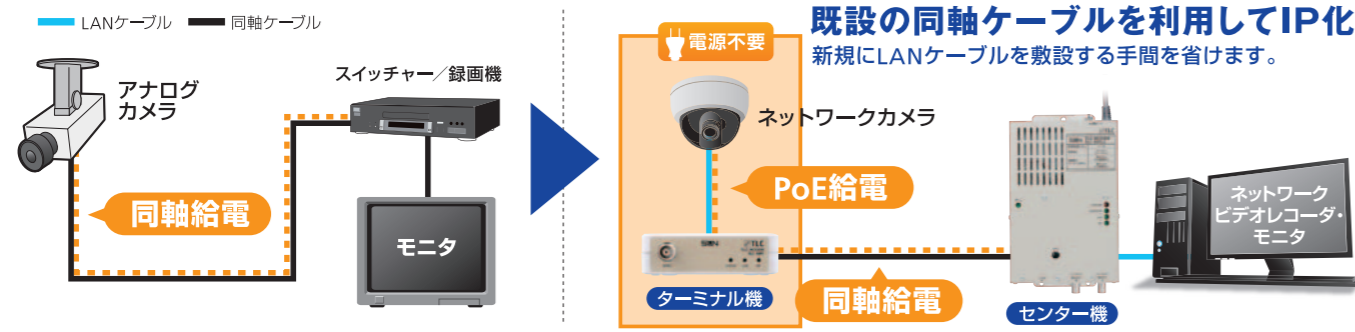


既設の同軸ケーブルを活用して、IP伝送と電源供給を可能にするメディアコンバータ。

PoE対応TLCモデム(同軸LAN)は、ネットワークカメラの信号(IP信号)を変換して同軸ケーブル伝送を行う機器です。また同軸重畳、PoE給電により電源重畳型のアナログカメラシステムも簡単に置き換えることができます。



本機器を利用した「アナログカメラ」から「ネットワークカメラ」への移行



PoEとは PoE(Power over Ethernet)はLANケーブルを使用してネットワーク機器に電源を供給する機能のことです。PoEはIEEE802.3afにて標準化された規格であり、この規格に準拠した機器なら、LANケーブルを用いてネットワーク機器に給電を行い、動作させることができます。

PoE対応TLCモデムの特長



▲ TLC-10PC2(2ポート) ▲ TLC-10PC4(4ポート)

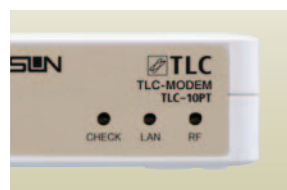
複数ポート対応 (2ポート/4ポート出力)

センター機は2ポート、4ポート出力の2種類をラインアップしています。複数台システムの移行もスムーズに行えます。



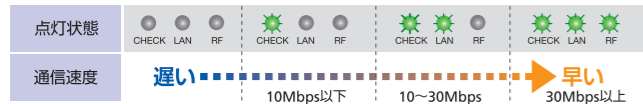
PoE給電「ON/OFF」機能

ターミナル機にはPoE切替(ON/OFF)スイッチがついています。PoE ON時は同軸伝送距離が500m、OFF時は最長2000mまで通信が可能です。
※最長距離は、5C-2V使用時にセンター機1台に対して、ターミナル機1台のみを接続した場合

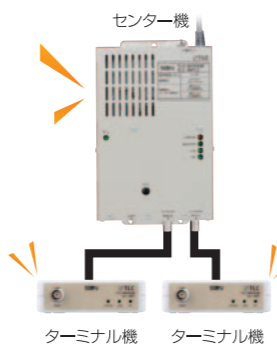


通信速度の確認

通信速度を簡易的に測定することができます。ターミナル機のSPEEDボタンを約1秒押すと測定が開始され、測定結果は、ターミナル機LED点灯で確認できます。



※通信速度はおおよその速度であり、実際の速度とは異なる場合があります。

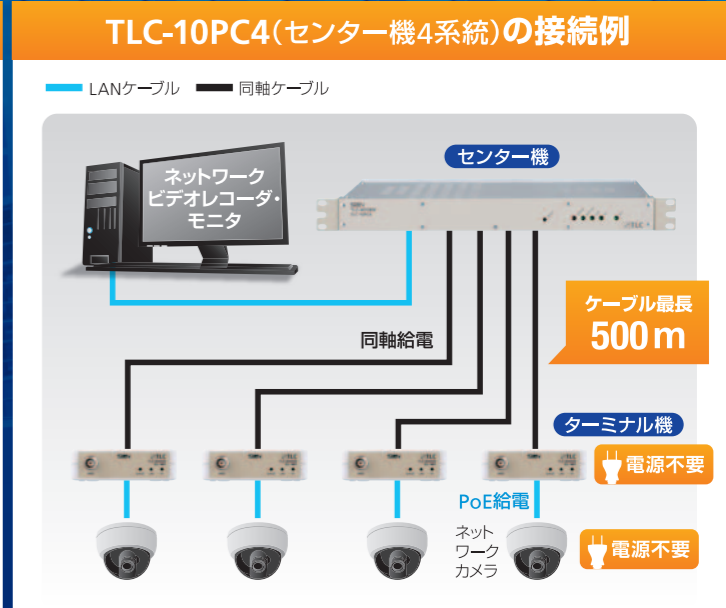
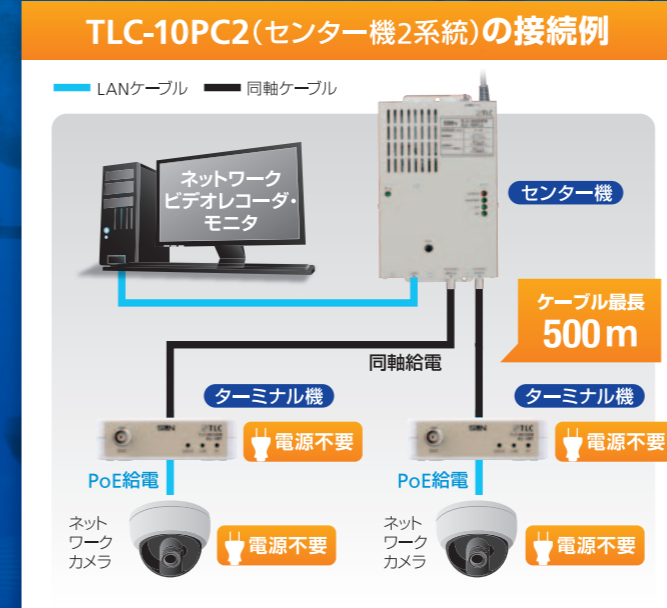


簡単接続

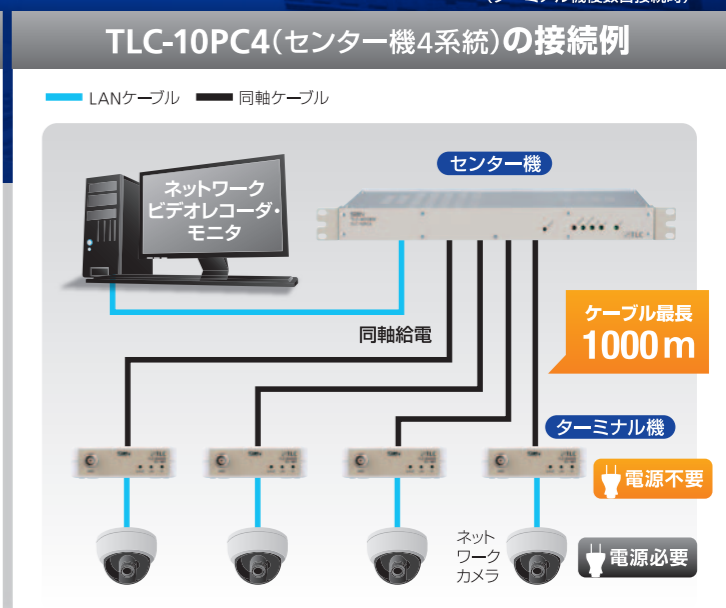
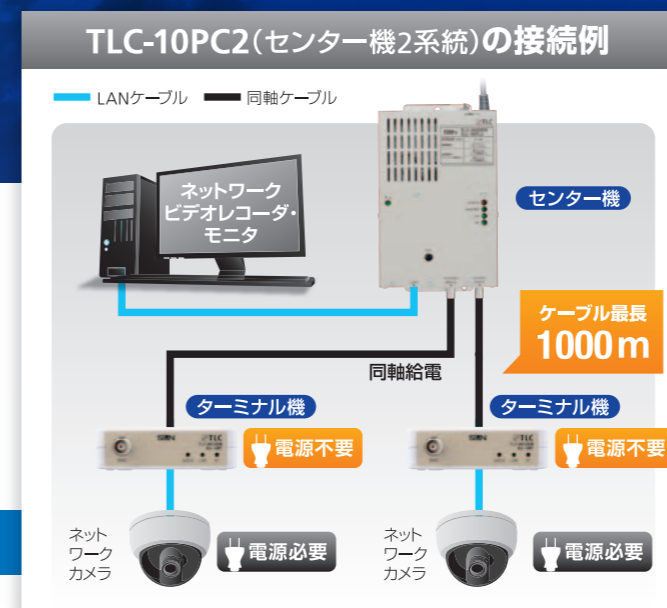
PoE対応TLCモデムのセンター機~ターミナル機間の認証は電源を入れると自動で行われます。

※PoE対応TLCモデム以外に接続するネットワーク機器は別途、認証の設定が必要です。

▶PoE給電「ON」時のシステム例 ネットワーク機器へPoE給電を行いながら、500mまで同軸を延長することができます。



▶PoE給電「OFF」時のシステム例 ネットワーク機器への給電は行えませんが同軸を1000mまで延長することができます。(ターミナル機複数台接続時)

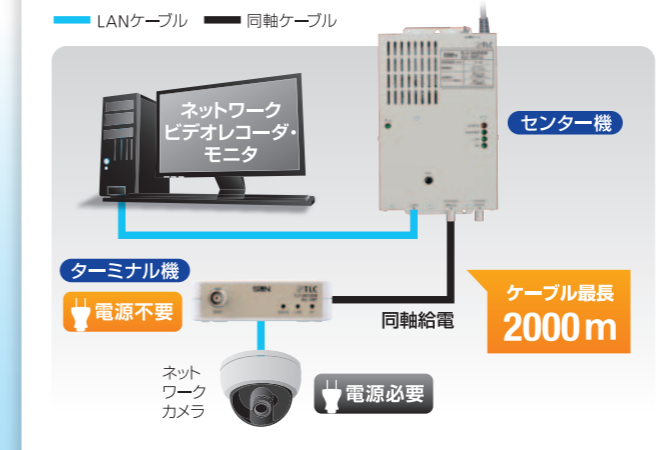


※カメラにPoE給電は行えません。独自で電源が必要です。

※カメラにPoE給電は行えません。独自で電源が必要です。

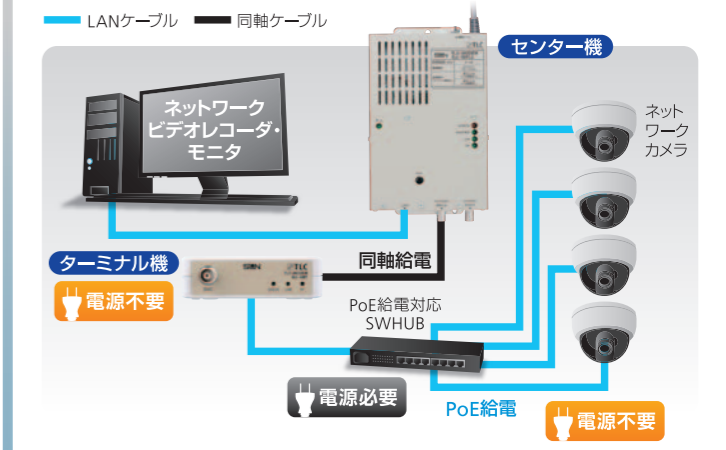
▶その他のシステム例

1系統のみ使用して最大2000mの長距離伝送



※通信速度はMAX値より低下します。
※カメラにPoE給電は行えません。独自で電源が必要です。

SWHUBを利用してターミナル機に複数台接続



※接続するネットワーク機器台数により通信速度は低下します。